

令和2年度第2回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和2年8月25日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
また、平素から本市の情報発信に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、現在のところ本市では感染者は確認されておりませんが、岡山県内ではクラスターが複数発生するなど、連日のように新規感染者が確認されている状況であります。

他地域においては、投石、中傷ビラの配布などの嫌がらせにより、住み慣れた土地を離れざるを得ない状況となっているところもあります。

新型コロナウイルスは誰でもが感染する可能性があるということを十分ご理解いただき、人権に配慮するなど本市においては決してそのようなことがないように、切にお願いいたしますとともに、報道機関にも啓発や周知にご協力いただきたいと思います。

厳しい暑さが続いておりますので、熱中症にも十分ご注意ください、外出時のマスク着用や人との距離を保つ、「3つの密」を避けるといった「新しい生活様式」を実践し、1人ひとりが危機感を持ち引き続き慎重な行動をお願いいたします。

それでは、はじめに新型コロナウイルス感染症に関する支援策の進捗状況を説明いたします。

国の「特別定額給付金」につきましては、5月18日から8月17日を期限とし、12,740世帯28,768人の受付を完了しております。

本市独自の支援につきましては、国の子育て世帯への臨時特別給付金に、市が1万円上乗せして給付する「子育てがんばれ！応援給付金」は、7月末までに2,901人 29,010,000円の給付を完了しております。

「中小企業者等事業継続支援金」については、8月21日までに145件 95,367,600円の支給を完了しております。

「持続化応援給付金」については、8月21日までに206件 42,510,000円の支給を完了しております。

「市内飲食利用クーポン事業（にーみん食ーポン）」については、8月中には全世帯（7月末基準12,756世帯）に発送することとしております。

「すくすく育て！出生支援金」につきましては、7月末申請分27人2,700,000円の支払いを完了しております。

また、8月11日の議会臨時会で議決いただいた、追加の補正予算事業である臨時生活支援地域商品券事業（1人5千円商品券）や子育て施設の感染防止対策整備などに早急に取り組んでおります。

それでは、本日の記者会見での発表事項について説明させていただきます。

まず、最初に「華道家 かりやざきしょうご 假屋崎省吾氏によるオンライン生け花授業」についてであります。

華道家 假屋崎省吾氏を講師に、9月15日（火）午前10時30分から、ふるさとキャリア教育として「リンドウ」を学習する新砥小学校全校児童を対象に、同小学校体育館で「リンドウ」を花材とし、オンラインで生け花授業を実施します。

これにより、西日本最大の産地である本市の特産品「リンドウ」、来年度開催予定の新見美術館特別展「假屋崎省吾の世界展」及び本市の誇るICT活用教育を広くPRするとともに、子どもたちの郷土愛を育んでいきたいと考えています。

次に「新見市大佐山大日高原風の聖域施設 トレーラーハウス設置事業」についてであります。

これは、新見市大佐山大日高原風の聖域オートキャンプ場にトレーラーハウス3台を設置し、大佐山の豊かな自然環境のもと、気軽にキャンプを楽しむことができ、自然体験などを通じた活動の場を提供するものです。10月1日（木）からの利用を予定しています。

観光地・体験型施設の拠点として、滞在型観光の振興を図れるものと期待しています。

次に、「市街地循環バス利用促進事業」についてであります。

市街地循環バス「ら・くるっと」は、年間約37,000人の利用をいただいております。この度、平成23年6月の運行開始から本年5月までに乗客が延べ30万人を突破したことを記念して、「ら・くるっと」を模したオリジナルグッズを運行主体の備北バスとともに作製することとしました。

今後、PR活動に使用し更なる利用促進につなげてまいりたいと考えております。

9月議会定例会へ提出する令和2年度一般会計補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策事業として1億9,515万円、災害復旧事業として、6億2,008万円など、合計で14億9,172万円を計上しております。

私からは以上でございます。